

日本語4

科目ナンバー	(IP)LAN181J
科目名	日本語4 (総合)
担当者	プレースメントテスト後に確定
単位数	3単位
授業数	週3回

1. 授業の概要・到達目標

中級前半レベルの学生を対象に、主に教科書『上級へのとびら』（くろしお出版）の前半部分を使って、日本語の総合能力について問題となる部分を確認しながら、週3回の集中的な練習により日本語能力を高めめます。この授業では、中級レベルの文型・表現・語彙等の習得を含む日本語の総合的な理解と運用を目標とします。授業は3人の教員が担当します。

2. 授業内容

授業は基本的に以下のような形で進めます。くわしいことは第1回のイントロダクションで説明します。

- 第1回: a: イントロダクション b: 国際交流ラウンジ・書店見学
- 第2-13回: テキストレッスン
- 第14回: 復習
- 第15回: a: まとめ (第1回) b: 復習
- 第16回: クラス活動
- 第17-27回: テキストレッスン
- 第28回: 復習
- 第29回: a: まとめ (第2回) b: 復習
- 第30-40回: テキストレッスン
- 第41回: 復習
- 第42回: a: 試験 b: 総復習

3. 履修上の注意

週3回の授業すべてに出席しなければなりません。

4. 準備学習 (予習・復習等) の内容

効果的に学習を進めるために、予習復習を十分に行ってください。

予習: 毎回30分~1時間 進行表を見て、学習内容のページの単語の意味や読み方を調べる。

文法ノートの説明と例文を読む。単語テストの準備をする。

復習: 毎回30分~1時間 その回に指示された宿題や文法プリントの記入。学習項目の整理。

5. 教科書

『コンテンツとマルチメディアで学ぶ日本語 上級へのとびら』、くろしお出版、岡まゆみ 他著

6. 参考書

必要があれば、授業の時に紹介します。

教科書には副教材もあります。こちらも参考にしてください。

○『上級へのとびら きたえよう漢字力 上級へつなげる基礎漢字800』、くろしお出版

○『上級へのとびら これ以身につく文法力』、くろしお出版

7. 成績評価の方法

3回行われる試験の結果と平常点 (小テスト、課題の提出、授業への取り組み) により評価を出します。

出席が2/3以上でなければ評価は出しません。

8. その他

授業のスケジュール及び内容は変更する可能性があります。

日常的なコミュニケーション能力だけでなく、大学での勉学に必要な読解能力や語彙・表現能力などを重視します。

より高いレベルの日本語能力試験の合格も目指してください。

この授業の「クラス活動」ではフィールドワークを実施する可能性があります。より深く日本や日本語を理解する貴重な機会として、事前準備を含め、積極的に取り組んでください。

科目ナンバー	(IP)LAN181J
科目名	日本語4 (読解)
担当者	プレースメントテスト後に確定
単位数	1単位
授業数	週1回
<p>1. 授業の概要・到達目標</p> <p>中級レベルの受講生を対象とした読解を中心に進めていく授業です。読み物を通して日本社会についての知識を得るだけでなく、社会的なテーマについて自ら考えていく力を身につけ、自分の意見、感想をクラスで交換し、またそれを文章で表現し、総合的な日本語力をつけるのと同時に読むことを楽しむのを目標とします。</p>	
<p>2. 授業内容</p> <p>第1回：イントロダクション</p> <p>第2回：読み物 (1)</p> <p>第3回：読み物 (2) 小テスト</p> <p>第4回：読み物 (2)</p> <p>第5回：読み物 (3) 小テスト</p> <p>第6回：読み物 (3)</p> <p>第7回：読み物 (4) 小テスト</p> <p>第8回：読み物 (4)</p> <p>第9回：読み物 (5) 小テスト</p> <p>第10回：読み物 (5)</p> <p>第11回：読み物 (6) 小テスト</p> <p>第12回：読み物 (6)</p> <p>第13回：読み物 (7) 小テスト</p> <p>第14回：読み物 (7) 振り返り</p> <p>受講生の人数などにより、スケジュールが変更になることがあります。</p>	
<p>3. 履修上の注意</p> <p>読み物の背景知識に関して情報収集するなど読み物に関連した課題を宿題にします。積極的に取り組んでください。</p>	
<p>4. 準備学習 (予習・復習等) の内容</p> <p>読み物に関する内容理解の質問に答える、意見・感想を文章で書く、という課題を宿題として出します。</p> <p>読み物に出てきた言葉、表現の復習小テストがあります。</p>	
<p>5. 教科書</p> <p>『読解厳選テーマ別25+10』清水正幸、下郡麻子、沖中晃子著 凡人社 2200円+税</p>	
<p>6. 参考書</p> <p>特にありません。</p>	
<p>7. 成績評価の方法</p> <p>課題の達成度 40%</p>	

小テスト 40%

平常点（授業への参加度、貢献度）20%

出席が2/3以上でなければ評価は出しません。

8. その他

授業のスケジュールは受講生の人数などにより変更することがあります。

この授業は「日本語（総合）」の授業とあわせて、フィールドワークやその準備を含みます。より深く日本や日本語を理解する貴重な機会として、積極的に取り組んでください。

科目ナンバー	(IP)LAN181J
科目名	日本語4 (読解)
担当者	プレースメントテスト後に確定
単位	1単位
授業数	週1回

1. 授業の概要・到達目標

中級レベル前半の学生を対象とし、中級レベルの日本語を読みこなすための漢字の読み書きを練習します。中級レベル漢字の学習に加え、既習である初級レベルの漢字も復習し、確実に身につけることを目指します。大学での勉強に必要な日本語読解力を伸ばすためには漢字の運用能力は欠かせません。「読む」「書く」ことを中心に学びますが、語彙を増やすことにより、他の技能「話す」「聞く」ための能力も養成し、総合的日本語力の向上を目指します。

2. 授業内容

第1回：イントロダクション (漢字既習度についてのチェック、授業案内と自己紹介)

第2回：漢字練習 (1)

第3回：漢字練習 (2) 小テスト

第4回：漢字練習 (3)

第5回：漢字練習 (4) 小テスト

第6回：漢字練習 (5)

第7回：漢字練習 (6) 小テスト

第8回：a: 復習, b: 試験

第9回：漢字練習 (7)

第10回：漢字練習 (8) 小テスト

第11回：漢字練習 (9)

第12回：漢字練習 (10) 小テスト

第13回：漢字練習 (11)

第14回：a: 小テスト, 復習, b: 試験

3. 履修上の注意

授業では、読み物を読み、応用練習もするので、漢字の読み練習や書き練習が宿題になることもあります。宿題は必ずしてください。

4. 準備学習 (予習・復習等) の内容

授業前の準備および授業後の復習として、30分～1時間 漢字の読み書き練習を十分にしてください。また、練習した漢字や語彙は、クラスの外で、日本語の文を書いたり日本語で交流したりする際にも積極的に使ってください。

5. 教科書

『BASIC KANJI BOOK』Vol.2 加納千恵子他著 (凡人社)

6. 参考書

『BASIC KANJI WORKBOOK』使って、身につく 漢字×語彙2』清水百合他著 (凡人社)

7. 成績評価の方法

小テストと課題 (30%)、中間試験 (20%)、期末試験 (20%)、平常点 (クラス活動への積極的参加) (30%)、出席が2/3以上でなければ評価は出しません。

8. その他

授業のスケジュールおよび内容は変わることがあります。

この授業は総合の授業とあわせて、フィールドワークやその準備を含みます。より深く日本や日本語を理解する貴重な機会として、積極的に取り組んでください。

科目ナンバー	(IP) LAN181J
科目名	日本語4 (口頭表現)
担当者	プレースメントテスト後に確定
単位数	1単位
授業数	週1回
1. 授業の概要・到達目標 中級前半レベルの学生を対象とし、中級レベルの口頭表現力を伸ばします。 特に大学での勉強に必要なプレゼンテーションやディスカッションの基本技能の習得を目標とします。	
2. 授業内容 第1回：イントロダクション・レベルチェックなど。 第2回：物の説明をする① 第3回：物の説明をする② 第4回：依頼表現① 第5回：依頼表現② 第6回：許可求め① 第7回：許可求め② 第8回：理由表現① 第9回：理由表現② 第10回：意見を言う① 第11回：意見を言う② ゲストセッション 第12回：スピーチ① 第13回：スピーチ② 第14回：スピーチ③ ゲストセッション	
3. 履修上の注意 ・ペアワークやグループワークをたくさん行います。 ・日本人学生と交流しながら学ぶ、「ゲストセッション」もあります。 ・クラスメイトとよく協力して授業に参加してください。特別な理由がない限り、休まないでください。	
4. 準備学習の内容 日頃から日本語で考え、話すように心掛けてください。 予習の内容は、回によって異なるので授業の中で具体的に指示します。 復習として、授業で学んだ語彙・表現・発音等の確認をすることを求めます。	
5. 教科書 プリント教材を配布します。	
6. 参考書 特になし。	

7. 成績評価の方法

平常点 (60%)、課題 (40%) により評価します。

出席が 2/3 以上でなければ評価は出しません。

8. その他

スケジュールは変更する可能性があります。

この授業は「日本語 (総合)」の授業とあわせて、フィールドワークやその準備を含みます。より深く日本や日本語を理解する貴重な機会として、事前準備を含め、積極的に取り組んでください。

科目ナンバー	(IP)LAN181J
科目名	日本語4 (文章表現)
担当者	プレースメントテスト後に確定
単位数	1単位
授業数	週1回
1. 授業の概要・到達目標 <ul style="list-style-type: none"> 初級文型の学習を終えたレベルの学生が対象です。 以下のことができるように勉強します。 <ol style="list-style-type: none"> 日本語で、自分自身のことや、身の回りのことについて、400字程度の作文が書ける。 学んだ「言葉」や「表現・文法」を使って、文章の構成や文体が整った作文が書ける。 自分の作文を読んで、書き直すことができる。 	
2. 授業内容 第1回：イントロダクション、ミニ作文作成 第2回：メールの書き方 第3回：テーマ① アイディア整理／作文のルール1 第4回：テーマ① フィードバック／書き直し 第5回：テーマ② アイディア整理／作文のルール2 第6回：テーマ② フィードバック／書き直し 第7回：ポートフォリオ作成、作品の共有 第8回：テーマ③ アイディア整理／作文のルール3 第9回：テーマ③ フィードバック／書き直し 第10回：テーマ④ アイディア整理／作文のルール4 第11回：テーマ④ フィードバック／書き直し 第12回：テーマ⑤ アイディア整理／作文のルール5 第13回：テーマ⑤ フィードバック／書き直し 第14回：ポートフォリオ作成、発表、まとめ	
3. 履修上の注意 <ul style="list-style-type: none"> 作文を書く宿題があります。作文の提出日を守ってください。 ペアワークやグループワークがあります。ペアで作成した作文を読みあって、直します。積極的にペア活動に参加しましょう。 	
4. 準備学習（予習・復習等）の内容 <ul style="list-style-type: none"> 作文を書いた後は、フィードバックをしっかりと見て書き直してください。 フィードバックや、自分が書いた作文のデータはしっかりと管理してください。 	
5. 教科書 プリントをくばります。	

6. 参考書

- ・『おしゃべりしながら書くことを楽しむ中級作文』，凡人社，杉浦千里・木戸光子
- ・『中級日本語学習者対象小論文への12のステップ』，スリーエーネットワーク，友松悦子
- ・『大学・大学院留学生の日本語②作文編』，アルク，アカデミック・ジャパニーズ研究会

7. 成績評価の方法

- ・平常点（授業への取り組み・提出物） 40%
- ・作文と発表 60%

8. その他

- ・この授業は「日本語（総合）」の授業で行くフィールドワークの準備もします。
- ・作文のテーマやスケジュールは受講生の人数や興味・関心等で変わります。詳しいスケジュールは授業で連絡します。
- ・より深く日本や日本語を理解する貴重な機会として、積極的に取り組んでください。

日本語5

科目ナンバー	(IP)LAN181J
科目名	日本語5 (総合)
担当者	プレースメントテスト後に確定
単位数	3単位
授業数	週3回

1. 授業の概要・到達目標

中級前半レベルの学生を対象に、主に教科書『上級へのとびら』（くろしお出版）の後半部分を使って、日本語の総合能力について問題となる部分を確認しながら、週3回の集中的な練習により日本語能力を高めます。この授業では、中級レベルの文型・表現・語彙等の習得を含む日本語の総合的な理解と運用を目標とします。授業は3人の教員が担当します。

2. 授業内容

授業は基本的に以下のような形で進めます。くわしいことは第1回のイントロダクションで説明します。

第1回： a: イントロダクション b: 国際交流ラウンジ・書店見学

第2～13回： テキストレッスン

第14回： 復習

第15回： a: まとめ（第1回） b: 復習

第16回： クラス活動

第17～27回： テキストレッスン

第28回： 復習

第29回： a: まとめ（第2回） b: 復習

第30～40回： テキストレッスン

第41回： 復習

第42回： a: 試験 b: 総復習

3. 履修上の注意

週3回の授業すべてに出席しなければなりません。

4. 準備学習（予習・復習等）の内容

効果的に学習を進めるために、予習復習を十分に行ってください。

予習： 毎回30分～1時間 進行表を見て、学習内容のページの単語の意味や読み方を調べる。

文法ノートの説明と例文を読む。単語テストの準備をする。

復習： 毎回30分～1時間 その回に指示された宿題や文法プリントの記入。学習項目の整理。

5. 教科書

『コンテンツとマルチメディアで学ぶ日本語 上級へのとびら』、くろしお出版、岡まゆみ 他著

6. 参考書

必要があれば、授業の時に紹介します。

教科書には副教材もあります。こちらも参考にしてください。

○『上級へのとびら きたえよう漢字力 上級へつなげる基礎漢字800』、くろしお出版

○『上級へのとびら これで身につく文法力』、くろしお出版

7. 成績評価の方法

3回行われる試験の結果と平常点（小テスト、課題の提出、授業への取り組み）により評価を出します。

出席が2/3以上でなければ評価は出しません。

8. その他

授業のスケジュール及び内容は変更する可能性があります。

日常的なコミュニケーション能力だけでなく、大学での勉学に必要な読解能力や語彙・表現能力などを重視します。

より高いレベルの日本語能力試験の合格も目指してください。

この授業の「クラス活動」では「フィールドワーク」を実施する可能性があります。より深く日本や日本語を理解する貴重な機会として、事前

準備を含め、積極的に取り組んでください。

科目ナンバー	(IP)LAN181J
科目名	日本語5 (読解)
担当者	プレースメントテスト後に確定
単位数	1単位
授業数	週1回

1. 授業の概要・到達目標

本クラスは、中級前半の学生を対象にし、日本語学習の中でも特に「読んで理解する(=読解)」にフォーカスします。読解力をあげるためには、漢字・語彙・文法表現などの学習だけでなく、文章に表れている書き手の意図やメッセージを読み取り、理解する力も必要です。クラスではいろいろなタイプの日本語の文章を読みながら漢字・語彙・文法表現などを学習し、さらに文中の含意を読み取り、確認し合います。(到達目標)生活の場面で必要な日本語の「読み」からアカデミックな文章の「読解」までと、読み物のレベルをアップしていき、中級後半、そして上級へと読解力の向上を目指します。

2. 授業内容

- 第1回: イントロダクション
- 第2回: テキスト(1) 読解 — 漢字・語彙・文法表現を学習
- 第3回: テキスト(1) 内容のメインポイントを読み取る
- 第4回: テキスト(2) 読解 — 漢字・語彙・文法表現を学習
- 第5回: テキスト(2) 内容のメインポイントを読み取る
- 第6回: テキスト(3) 読解 — 漢字・語彙・文法表現を学習
- 第7回: テキスト(3) 内容のメインポイントを読み取る
- 第8回: テキスト(4) 読解 — 漢字・語彙・文法表現を学習
- 第9回: テキスト(4) 内容のメインポイントを読み取る
- 第10回: テキスト(5) 読解 — 漢字・語彙・文法表現を学習
- 第11回: テキスト(5) 内容のメインポイントを読み取る
- 第12回: テキスト(6) 読解 — 漢字・語彙・文法表現を学習
- 第13回: テキスト(6) 内容のメインポイントを読み取る
- 第14回: a: 試験 もしくは まとめ等
b: 試験の正答解説 もしくは 試験等

3. 履修上の注意

「講義を受ける」だけの受け身の授業ではありません。疑問や質問などがある場合は積極的に発言してください。また、先生やクラスメンバーとは違う意見を持っている時、自分の考えをはっきり表わすこともこのクラスでは大切です。

クラスでは自由に辞書が使えます。辞書を持ってきてください。

4. 準備学習(予習・復習等)の内容

予習・復習が必要な場合は、先生が授業中に指示を出します。また、クラスで終わらなかった内容が宿題になることもあります。

5. 教科書

プリントを配布します。

6. 参考書

開講時に案内します。

7. 成績評価の方法

読み物ごとの小テスト及び課題（50%）、期末試験（30%）、授業への参加度および平常点（20%）により評価します。

出席が2/3以上でなければ評価は出しません。

8. その他

授業のスケジュール及び内容は、変更の可能性があります。

この授業は「日本語（総合）」の授業とあわせて、フィールドワークやその準備を含みます。より深く日本や日本語を理解する貴重な機会として、積極的に取り組んでください。

科目番号	(IP) LAN181J
科目名	日本語5 (口頭表現)
担当者	プレースメントテスト後に確定
単位数	1単位
授業数	週1回
1. 授業の概要・到達目標 中級レベルの口頭表現力を伸ばします。特に大学で必要なスピーチ、プレゼンテーション、ディスカッションなどの技能の習得を目標とします。	
2. 授業内容 第1回： イントロダクション、ユニット1 第2回： ユニット1 第3回： ユニット2 第4回： ユニット2 第5回： ユニット2 第6回： ユニット4 第7回： ユニット4 第8回： ユニット4 第9回： ユニット6 第10回： ユニット6 第11回： ユニット6 第12回： 最終課題について話し合い 第13回： 最終課題 第14回： 最終課題表	
3. 履修上の注意 クラスメイトと協力し、積極的に活動に参加すること。全ての課題に取り組むこと。	
4. 準備学習の内容 毎回の授業で、次回の授業への準備としての宿題が指示されます。必ずやってください。	
5. 教科書 『中級 日本語で挑戦！スピーチ&ディスカッション』, 凡人社, 黒崎典子 編著	
6. 参考書 必要に応じて、資料を配布します。	

7. 成績評価の方法

平常点業への取り組み・宿題等（60%）、課題発表（40%）により評価します。出席が2/3以上でなければ評価は出しません。

8. その他

授業のスケジュール及び内容は変更する可能性があります。

授業中は日本語で話してください。

科目ナンバー	(IP)LAN181J
科目名	日本語5 (文章表現)
担当者	プレースメントテスト後に確定
単位数	1単位
授業数	週1回
1. 授業の概要・到達目標 ・中級前半レベルの学生を対象とします。 ・以下のことができるように学習します。 ①書き言葉を使い、文体や構成が整った文章を書くことができる。 ②自分自身のことや出来事、自分の意見について、400～600字の作文が書ける。資料なども使ってまとめることができる。 ③文章を読む人がいることを考えて、工夫した文章を書くことができる。 ④自分の作文を読んで、書き直すことができる。	
2. 授業内容 第1回：イントロダクション、ミニ作文作成 第2回：メールの書き方 第3回：テーマ① アイディア整理／作文のルール① 第4回：テーマ① フィードバック／書き直し 第5回：テーマ② アイディア整理／作文のルール② 第6回：テーマ② フィードバック／書き直し 第7回：ポートフォリオ作成、作品の共有 第8回：テーマ③ アイディア整理／作文のルール③ 第9回：テーマ③ フィードバック／書き直し 第10回：テーマ③ フィードバック／書き直し 第11回：テーマ④ アイディア整理／作文のルール④ 第12回：テーマ④ フィードバック／書き直し 第13回：テーマ④ フィードバック／書き直し 第14回：ポートフォリオ作成、発表、まとめ	
3. 履修上の注意 ・作文を書く宿題があります。作文の提出日を守ってください。 ・ペアワークやグループワークがあります。ペアで作成した作文を読みあって、直します。積極的にペア活動に参加しましょう。	
4. 準備学習（予習・復習等）の内容 ・作文を書いた後は、フィードバックをしっかりと見て書き直してください。 ・フィードバックや、自分が書いた作文のデータはしっかりと管理してください。	
5. 教科書 ・プリント教材を配布します。	

6. 参考書

- ・『おしゃべりしながら書くことを楽しむ中級作文』，凡人社，杉浦千里・木戸光子
- ・『大学・大学院留学生の日本語②作文編』，アルク，アカデミック・ジャパニーズ研究会
- ・『留学生のためのここが大切 文章表現のルール』，スリーエーネットワーク，石黒圭・筒井千絵

7. 成績評価の方法

- ・平常点（授業への取り組み・提出物） 40%
- ・作文と発表 60%

8. その他

- ・この授業は「日本語（総合）」の授業で行くフィールドワークの準備もします。
- ・作文のテーマやスケジュールは受講生の人数や興味・関心等で変わります。詳しいスケジュールは授業で連絡します。
- ・より深く日本や日本語を理解する貴重な機会として、積極的に取り組んでください。

日本語6

科目ナンバー	(IP)LAN181J
科目名	日本語6 (総合)
担当者	プレースメントテスト後に確定
単位数	3単位
授業数	週3回

1. 授業の概要・到達目標

中級レベルの学生を対象に、教科書『生きた素材で学ぶ 新・中級から上級への日本語』

(The Japan Times) を使って、日本語の総合能力について問題となる部分を確認しながら、週3回の集中的な練習により日本語能力を高めます。

この授業では、中級レベルの文型・表現・語彙等の習得を含む日本語の総合的な理解と運用を目標とします。授業は3人の教員が担当します。

2. 授業内容

授業は基本的に以下のような形で進めます。くわしいことは第1回のイントロダクションで説明します。

第1回: a: イントロダクション b: 国際交流ラウンジ・書店見学

第2～13回: テキストレッスン

第14回: 復習

第15回: a: まとめ (第1回) b: 復習

第16回: クラス活動

第17～27回: テキストレッスン

第28回: 復習

第29回: a: まとめ (第2回) b: 復習

第30～40回: テキストレッスン

第41回: 復習

第42回: a: 試験 b: 総復習

3. 履修上の注意

週3回の授業すべてに出席しなければなりません。

4. 準備学習 (予習・復習等) の内容

効果的に学習を進めるために、予習復習を十分に行ってください。

予習: 毎回30分～1時間 進行表を見て、学習内容のページの単語の意味や読み方を調べる。

重要表現、文法・語彙練習の説明と例文を読む。小テストの準備をする。

復習: 毎回30分～1時間 その回に指示された宿題や文法プリントの記入。学習項目の整理。

5. 教科書

『生きた素材で学ぶ 新・中級から上級への日本語』, (The Japan Times), 鎌田修他著

『新・中級から上級への日本語 ワークブック』, (The Japan Times), 鎌田修監修

6. 参考書

必要があれば、授業の時に紹介します。

7. 成績評価の方法

3回行われる試験の結果と平常点（小テスト、課題の提出、授業への取り組み）により評価を出します。

出席が2/3以上でなければ評価は出しません。

8. その他

授業のスケジュール及び内容は変更する可能性があります。

日常的なコミュニケーション能力だけでなく、大学での勉学に必要な読解能力や語彙・表現能力などを重視します。

より高いレベルの日本語能力試験の合格も目指してください。

この授業の「クラス活動」では「フィールドワーク」を実施する可能性があります。より深く日本や日本語を理解する貴重な機会として、事前準備を含め、積極的に取り組んでください。

科目ナンバー	(IP)LAN181J
科目名	日本語6 (読解)
担当者	プレースメントテスト後に確定
単位数	1単位
授業数	週1回
1. 授業の概要・到達目標 中級レベルの日本語を読みこなす練習をします。 特に大学での勉学に必要な日本語読解力を高め、論説的な文章を読む技術を身につけます。	
2. 授業内容 第1回：イントロダクション・テキスト第1章 (1) 第2回：テキスト第1章 (2) 第3回：テキスト第2章 (1) 第4回：テキスト第2章 (2) 第5回：テキスト第3章 (1) 第6回：テキスト第3章 (2) 第7回：テスト 第8回：テキスト第4章 第9回：テキスト第5章 (1) 第10回：テキスト第5章 (2) 第11回：テキスト第6章 (1) 第12回：テキスト第6章 (2) 第13回：テキスト第7章 第14回：a:まとめ b:試験	
3. 履修上の注意 積極的に授業に参加してください。	
4. 準備学習 (予習・復習等) の内容 テキスト本文について、わからない単語の意味を辞書で調べておいてください。復習としては、授業で読んだテキストをもう一度読み返してください。	
5. 教科書 『留学生のためのストラテジーを使って学ぶ文章の読み方』一橋大学留学生センター (スリーエーネットワーク)	
6. 参考書 特に指定しません。	

7. 成績評価の方法

試験 (40%)、授業参加度 (60%) により評価します。

出席が2/3以上でなければ評価は出しません。

8. その他

授業のスケジュール・内容は変更される可能性があります。

かもく 科目ナンバー	(IP)LAN181J
かもくめい 科目名	にほんご こうとうひょうげん 日本語6 (口頭表現)
たんとうしゃ 担当者	プレースメントテスト後に確定
たんいすう 単位数	たんい 1単位
じゅぎょうすう 授業数	しゅう かい 週1回
1. 授業の概要・到達目標 ちゅうきゅう レベルの口頭表現力を伸ばします。特に大学での必要なスピーチやディスカッション技能の習得を目標とします。また、学生各自が日本語を話すことで表現してみたい課題を探して取り組みます。	
2. 授業内容 だい かい 第1回: イントロダクション, テキスト・ユニット1 自己紹介 (1) だい かい 第2回: 発音練習 テキスト・ユニット1 自己紹介 (1) だい かい 第3回: 発音練習 テキスト・ユニット2 インタビュー (1) だい かい 第4回: 発音練習 テキスト・ユニット2 インタビュー (2) だい かい 第5回: 発音練習 テキスト・ユニット2 インタビュー (3) だい かい 第6回: 発音練習 テキスト・ユニット4 スピーチ (1) だい かい 第7回: 発音練習 テキスト・ユニット4 スピーチ (2) だい かい 第8回: 発音練習 テキスト・ユニット4 スピーチ (3) だい かい 第9回: 発音練習 テキスト・ユニット6 ディスカッション (1) だい かい 第10回: 発音練習 テキスト・ユニット6 ディスカッション (2) だい かい 第11回: 発音練習 テキスト・ユニット6 ディスカッション (3) だい かい 第12回: 各自の課題に取り組む (1) だい かい 第13回: 各自の課題に取り組む (2) だい かい 第14回: 各自の課題に取り組む (3)	
3. 履修上の注意 じゅぎょうまえ としゅう 授業前の予習, 授業後の復習, 課題の準備を十分に行ってください。 じぶんいちにん 自分一人だけでなく他の学生と協力して作業を行う場合もあります。	
4. 準備学習 (予習・復習等) の内容 インタビュー, スピーチ, ディスカッションのテーマは学生が考えます。テーマについては事前に図書館やインターネットなどを使ってよく調べ準備してください。	
5. 教科書 プリントを配布します。	
6. 参考書 『中級日本語で挑戦!スピーチ&ディスカッション』, 凡人社, 黒崎典子 編著	

7. 成績評価の方法

平常点（授業への取り組み・宿題）（60%）、課題（40%）により総合的に評価します。

出席が2/3以上でなければ評価は出しません。

8. その他

授業のスケジュール及び内容は変更する可能性があります。

この授業は「日本語（総合）」の授業とあわせて、フィールドワークやその準備を含みます。より深く日本や日本語を理解する貴重な機会として、積極的に取り組んでください。

科目ナンバー	(IP) LAN181J
科目名	日本語6 (文章表現)
担当者	プレースメントテスト後に確定
単位数	1単位
授業数	週1回
1. 授業の概要・到達目標 中級レベルの学生を対象とし、レベルに応じた文法や表現を学習し、大学での勉学に必要な作文力を高めます。このレベルでは、特に説明文や短い意見文などが適切に書けるようになることを目標とします。	
2. 授業内容 第1回：イントロダクション 第2回：作文練習 第3回：問題の解決 第4回：作文練習 第5回：問題の解決 第6回：作文練習 第7回：問題の解決 第8回：作文練習 第9回：問題の解決 第10回：作文練習 第11回：問題の解決 第12回：作文練習 第13回：問題の解決 第14回：復習・まとめ	
3. 履修上の注意 作文の提出は締め切りを守ってください。授業では作文に関する意見交換や口頭発表なども行います。積極的に参加してください。	
4. 準備学習の内容 返却された作文は、よく読み返し、文法や表現の間違いを確認して、必ず清書して提出してください。	
5. 教科書 プリント教材を配布します。	
6. 参考書 特になし	

7. 成績評価の方法

提出作品：70%、授業への取り組み：30%

出席が2/3以上でなければ評価は出しません。

8. その他

授業のスケジュールおよび内容は変更の可能性があります。

この授業は「日本語（総合）」の授業とあわせて、フィールドワークやその準備を含みます。より深く日本や日本語を理解する貴重な機会として、積極的に取り組んでください。